生野区、平野区(A)、(B)の社会実験の中間報告

<u>【目次】</u>

(1) オンデマンドバスご利用状況

《利用状況データ》

- 1. エリア別/週別利用者数
- 2. エリア別/曜日別利用者数
- 3. エリア別/時間帯別利用者数
- 4. エリア別/利用種別割合
- 5. エリア別/年齢別利用者数
- 6. エリア別/移動の状況(乗降場所別利用者数)
- 7. エリア別/実車率

《アンケート結果》

- 1. インターネットによるアンケート調査
- 2. オンデマンドバス車内アンケート調査

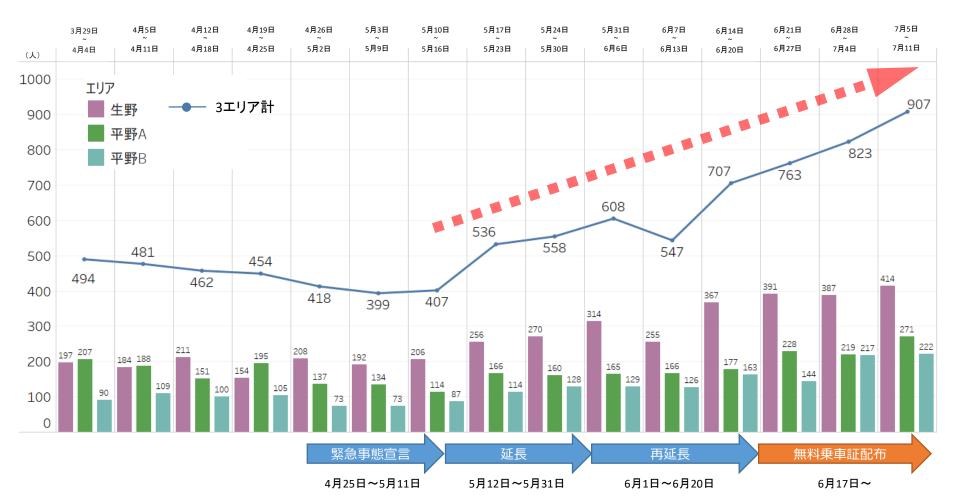
(2) 今後の利用拡大・利用定着に向けて

- ① 現状の認識と課題
- ② 今後の対応・対策

《利用状況データ》 1. エリア別/週別利用者数

※3月30日~7月11日ご利用分集計

■緊急事態宣言発出による外出抑制の影響も見られたが、 5月以降徐々に利用者が堅調に増加、直近では1週間で900人以上の移動を支援



《利用状況データ》2. エリア別/曜日別利用者数

※3月30日~7月4日ご利用分集計

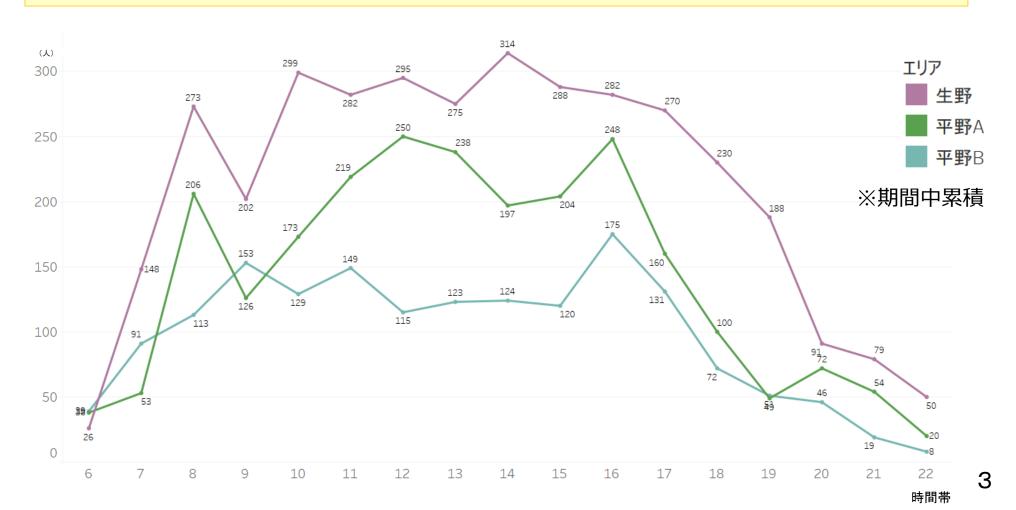
- ■3エリアとも平日、特に金曜日でのご利用が多く、日曜日のご利用が少ない
- 生野エリアでは土曜、平野Bエリアでは月曜でのご利用が相対的に少ない(____)



《利用状況データ》3. エリア別/時間帯別利用者数

※3月30日~7月4日ご利用分集計

- 生野エリアでは14時台がピークで、日中でのご利用が多い
- 平野Aエリアでは、12時台、夕方16時台がピーク、日中でのご利用が多い
- 平野Bエリアでは、16時台がピーク、日中時間帯に平均的にご利用頂いている



《利用状況データ》 4. エリア別/利用種別利用割合

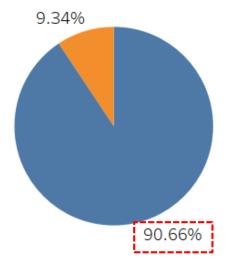
※3月30日~7月4日ご利用分集計

■ 3エリアとも、アプリからのご利用が約9割

※のべ利用回数

平野Aエリア 生野エリア ※2,851回 ※1,753回 7.61% 10.45% 89.55% 92.39%

平野Bエリア ※1,328回



予約方法

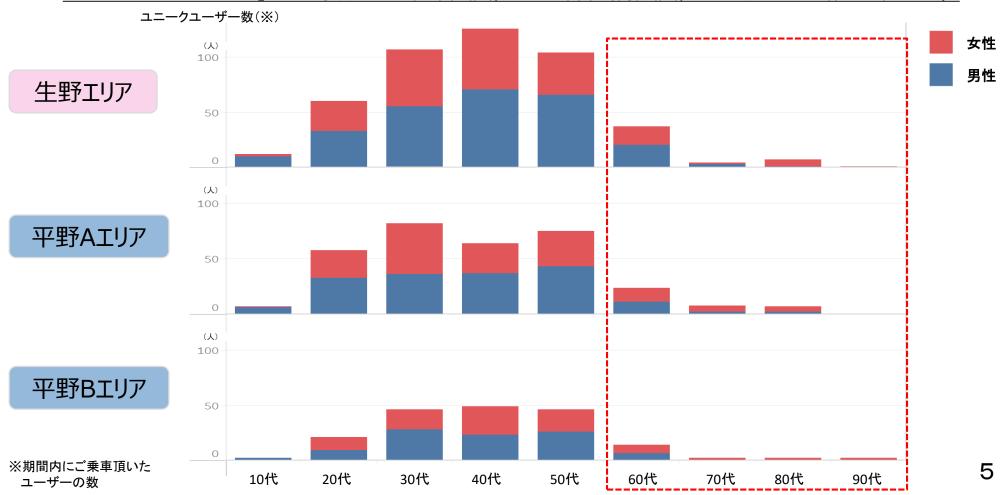
■ アプリ ■ コールセンター

《利用状況データ》5. エリア別/年齢別利用者数

※3月30日~7月4日ご利用分集計

■30代から50代にかけてのご利用が比較的多い一方で、60代以上の方のご利用が 少ない

スマホアプリ「OsakaMaas」にて登録頂いている性年代情報をもとに集計(属性情報をインプットしている割合は約70%)



《利用状況データ》 6.エリア別/移動の状況 (乗降場所別利用者数)※3月30日~7月4日ご利用分集計

生野エリア

- ■乗車回数の多い主な乗降場所は、 鶴橋駅、桃谷駅、寺田町駅及び 生野区役所
- 生野東や林寺など比較的交通不便 地域(い)での移動需要も支援
- ■その他今里筋沿い既存バス停から JR環状線各駅に向けたご利用が 多いのも特徴



《利用状況データ》 6.エリア別/移動の状況 (乗降場所別利用者数)※3月30日~7月4日ご利用分集計

平野Aエリア

- ■乗降回数の多い主な乗降場所は、 出戸バスターミナル(以下出戸BT)、 地下鉄平野駅、JR平野駅であり、 運行エリア内各乗降場所から駅・出戸BT への移動を支援
- ■特に加美東や加美正覚寺エリアなど 比較的、交通不便地域(い)での 移動も支援
- ■JR平野駅から地下鉄平野駅・平野 区役所等への移動も支援

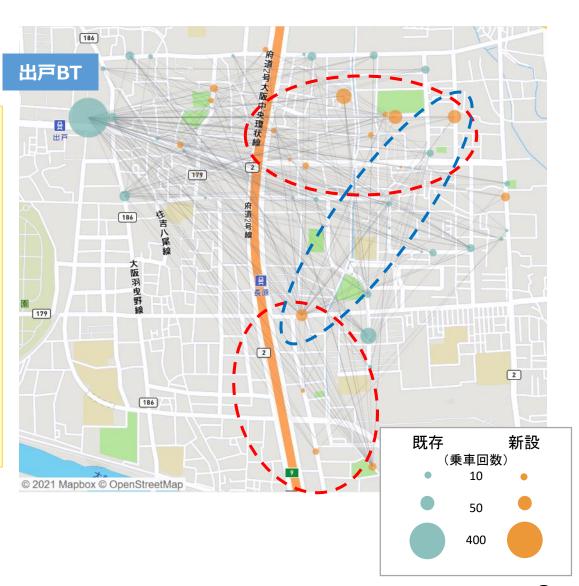


※期間中累積

《利用状況データ》 6.エリア別/移動の状況 (乗降場所別利用者数)※3月30日~7月4日ご利用分集計

平野Bエリア

- ■乗降回数の多い主な乗降場所は、 出戸BT、運行エリア内各乗降場所から 出戸BTへの移動を支援
- ■長吉東部・六反、長原東エリアなど (い)から出戸BTへの移動も支援
- 六反地域から長吉地域への既存交通 (鉄道・バス)では直接移動できない 移動需要(ご)が新たに発生 していると推察



※期間中累積

《利用状況データ》 7. 実車率

実車率 = 実車時間÷営業時間

※3月30日~7月4日ご利用分集計

- ■利用者数の増減によって大きく影響をうける指標
- 生野エリアは17%強、平野A・Bエリアは10%強の状況であり、まだ供給余力がある状況



営業時間 = 車両シフト上の営業時間(回送を含み、休憩、交代を除く) 実車時間 = 配車システム上の降車日時と乗車日時の差